

公表

## 児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS安城校			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 11月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69	(回答者数)	60
○従業員評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 31日			
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 12 月 1 日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別の運動療育で身体の土台作りを行い、楽しみながらやりたいことをやりきり、自立に向けた支援を行っていること。	指導員と利用者様が1対1で向き合い、その日の気分や体調、特性に合わせてプログラムを柔軟に調整し、楽しみながら取り組める運動療育を行っている。 行動・表情・言葉から求めていることを読み取り、個々の課題や成長に応じた支援を意識して実施するとともに、主体的な活動の中でSSTを取り入れ、自立に向けた土台づくりを進めている。	園や他事業所、相談員など保護者以外の関係機関と連携を図り、利用者様1人ひとりの特性や状況に応じた関わり方や支援方法を検討して支援を行っていく。 また、行動・表情・表情に意識を向け、求めていることや困りごとに対応し、記録をしっかりと残すことで、どの指導員でも引き継ぎ可能な体制を整え、支援の質のさらなる充実を図っていく。
2	保護者様の送迎によって日常的に話しやすい関係を築き、トレーニングと一緒に見てもらう機会である、子育てサポートを確保し、お困りごとの原因を保護者様と共に考えて療育を進めていること。	園や家庭での様子、行事やおでかけの話などを日頃から丁寧に関き取り、普段の姿を把握することを大切にしている。 また、保護者様から相談があった際には、お子様の様子を一緒に見ながら話せるように子育てサポートを提案し、より具体的な相談ができる環境をつくっている。 さらに、保護者様からの聞き取りやトレーニング記録をもとに原因を探り、家族支援や子育てサポートにつながる提案を行うことを意識して取り組んでいる。	保護者とのコミュニケーションをより深め、話しやすい雰囲気づくりを意識し、トレーニング体験型の親子参加イベントの回数を増やし、保護者がつながるコミュニティの場をつくり、学校や園との連携を通じて個々の子どもに応じた支援方法を検討することで、支援の質と家庭・学校との連携のさらなる充実を図っていく。
3	アプリを活用した予約受け付けや、研修を通じ、職員のスキル向上、チームで個々の特性に合わせたプログラムを作成・共有する体制に加え、職員増員により利用枠が拡大し、座談会・親子イベントなど保護者が参加できる機会を設けていること。	ご利用の予約については、予約アプリに加えてSNSを活用して予約や連絡を行い、研修では参加できなかった職員も動画で研修内容を確認できるようにするなど、情報共有の工夫を徹底している。 また、LINE等を活用して利用者様個々の状況を職員間で常時共有し、利用者様には空き情報のご案内や各種イベントを周知するとともに、Instagramや公式LINE、チラシ配布など多様な手段で情報発信を意欲的に取り組んでいる。	他事業所との情報交換や園への訪問を通じて多角的な視点で支援を行う。 また、座談会の回数や内容を工夫して、つながるコミュニティの場を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもや住民との交流、地域連携、地域との関わりやネットワークづくりに課題がある。	現状は試行錯誤の段階で取り組みが十分に確立しておらず、町内会や学校など地域機関との連携が不十分であることが挙げられる。	本部や他事業所での取り組みを参考にしつつ、安城校に合った方法を模索することが重要だと考える。 今年度参加した、福祉まつりの活動を継続し、その他の地域行事への参加も引き続き行う必要がある。
2	駐車場の台数が少なく停めにくいことや、従業員用のパソコンが十分に整備されていないことから、施設や業務環境において改善が必要な課題がある。	駐車場の白線が消えかかって分かりにくいことや、パソコンの台数が不足していることから、プログラム作成や印刷作業が遅くなるなど業務の効率に影響が出ており、施設や設備面での制約が課題の要因となっている。	駐車場の白線を引き直す、色を付けるなどして駐車位置を明確にし、公式LINEやインスタで周知をする。 また、パソコンの台数を増やし、タブレットからも印刷できる環境を整え、業務効率の向上を図る工夫をする。
3	利用者様およびスタッフの増加に伴い、担当職員のローテーションで対応する際に特定の利用者様を担当しにくい場合があり、全員が最近の様子を把握しにくい状況がある。 また、利用者様の数が増えているにもかかわらず、契約日数を使い切れていない利用者様も存在するなど、業務運営の面に課題がある。	利用者様および、スタッフの増加に伴い、スタッフの休みのタイミングで担当が偏るなど体制の調整が十分に行き届かないことがある。 また、職員の増員により利用枠が増えたことから、適切な体制を整える必要があるほか、お休みすることに対する保護者様の意識が十分でない点も、利用調整の難しさに影響していると考えられる。	サービスの充実を図るためには、スタッフ間のコミュニケーションを密にし、情報共有の方法やローテーションの工夫を行うことが重要。 また、利用日数が少ない利用者様や保護者様に対してコミュニケーションをとり、個別の状況に応じた対応を検討することで、より適切で質の高い支援を提供できるよう努める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 S.I.C.KIDS安城校

公表日 2025 年 12 月 8 日

利用児童数

21

回収数

20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1			・もう少し広いともっと活動の幅が広がりそうのため。	・支援室は十分なスペースを確保していると感じていました。教具の配置や、お子様が活動するスペースを分散するなどして、ご利用者様が安心して身体を動かせる環境作りを行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20				・手厚く見ていただいています	・基準人員以上の配置ができています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			1	・写真やカードがあつて分かりやすい	・必要に応じて改善していきます。ご意見やご要望がございましたら遠慮なくお話しください
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20					・毎朝、清掃を行い、お子様の入れ替え時に必ずアルコール消毒をしています。今後も清潔で心地よく過ごせる環境を提供していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20				・アプリで可視化できるのが、とてもありがたいです。 ・子どもの特性をみなさんがしっかり見てくださっていると感じます	・支援計画に沿った、個別の療育を行い、お子様の気持ちや、やりたいことを大切にしながら、できた喜びや達成感を感じてもらえるようにすることを心掛けて今後も支援をしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20					・支援プログラムについてはインターネット上に公表しています。ご不明な点がありましたらお尋ねください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				・ヒアリングの際もしっかり聞いてくださっている。	・保護者様からお話を聞かせていただき、サービス等利用計画書を土台として計画の作成を行っています。また、作成時には全職員で計画を検討する時間を設けています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20					・移行支援、地域支援・地域連携については、保護者様の意向、お子様の思いを大切にして、今後行っていきたいと考えています。
	11	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20				・無理なく個々のペースで進められている。	・支援計画をもとにプログラムを作成し、支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1		1	・いつも子どもが、そんなこともやるんだ！と驚きがある。	・支援計画をもとに、そのときや今後に向けて何が必要かを検討しながらプログラムを作成しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	2		5		・地域交流について、利用者様の地元のお祭りを紹介していきたいと考えています。  ・S.I.C.KIDSが毎年行っているファミフェスは、障がいの有無に関わらず、みんなで楽しめるイベントとして開催しています。こういったイベントを利用することにより、ステップアップで地域行事にも参加ができるようになってほしいという願いがあります。様々なイベントを紹介し、活動ができたらと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					・主にご契約時に説明を行っています。その他、不明点や質問があった際は、対応をしています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					・計画の作成後、支援計画の目標やねらいや、支援のポイントを説明しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20					・今年は、保護者同士でのつながりを持つていただけるように座談会の開催、保護者様にニーズを聞き、セミナーの開催、親子イベントを行いました。今後も継続して開催したいと考えています。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1				・保護者様から相談があった際は、子育てサポートや家族支援を行っています。相談内容は職員間で共有しています。職員からも保護者様へ積極的に声を掛け、情報交換を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1				・利用者様のお困りごとやニーズに寄り添いながら支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	2		2	・きょうだい向けのイベントがもっとあったらいいと思います。	・保護者様が集まる場として座談会を設けています。同じような内容だけではなく、様々なイベントを企画し、交流できる場作りをしています。 ・一方、きょうだい同士で交流する機会はまだ設けられていません。今後、きょうだい同士で交流する機会を設けていけたらと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20					・人員が増え、保護者様から相談があった際には、迅速に対応しています。相談内容は職員間で共有しています。職員からも保護者様へ積極的に声を掛け、情報交換を行っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					・文字だけで分かりづらきときは、絵カードや写真を用いて行っています。 ・支援の中で気になったことや、できごとを細かく伝え、継続した支援を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19			1		・公式LINEやInstagram等のSNSで発信しています。 ・評価結果は、S.I.C.KIDSのホームページに掲載しています。活動概要については詳細を口頭でお伝えしていますが、もっと分かりやすく伝えられるように、SNS等を活用していきます。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20					・鍵付きの書庫に保管し、十分注意しています。鍵のかけ忘れがないかを確認してから退勤します。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1				・各マニュアルを策定し、マニュアルに応じた動きを想定した訓練を行っています。 ・マニュアルは、待合室の靴箱の上に常時設置しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20					・業務継続計画を策定し、避難訓練や防災訓練、引き渡し訓練を行っています。また、安全対策訓練や感染症対策訓練を行っています。 ・実際にどのように避難訓練を行うのか、スタッフで実演をしたものを配信するなどの工夫をしていきたいと思っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20					・訓練を実施する際には、事前に詳細を配信しております。 ・お子様が安全に活動できるように、支援中は声を掛け合い、最善の注意を払っています。
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20					・事故やケガをした際には、その時の状況や処置方法、改善策等をしっかり説明をしています。なぜ起こってしまったのかを報告書にまとめ、同じことが起こらないように検証しています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19			1		・保護者様の送迎により、安心感をもって通所ができていると感じています。今後も送迎の際にお話をする機会を設けて、密にコミュニケーションを図っていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1			・他の事業所やこども園よりも、一番楽しみにしています。 ・毎週楽しく通っています。	・今後も行くのが楽しみだな、行きたいなと思ってもらえるような活動や支援を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1				・お子様の成長と共に共感しながらご満足していただけるように、今後も支援をしています。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
S.I.C.KIDS安城校		2025 年 12 月 8 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容や人数に応じて、ご利用者様が安全に活動できるように、配慮しています。	・教員の配置や、お子様が活動するスペースを分散するなどして、ご利用者様が安心して身体を動かせる環境作りを行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・基準＋加配の配置をして個別支援を提供しています。	・保育士、児童指導員を適切に配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・移動範囲に障害物がないようにしています。お子様にも分かりやすいように表示を行い、必要に応じて設備を整えています。	・施設内に一部段差がありバリアフリー化されていない箇所はありますが、視覚的なアプローチや、環境上の配慮を可能な限り行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日清掃を必ず行い、週1回消毒を行っています。利用されるご利用者様に合わせて、教具等の配置を変えるようにしています。	・常に清潔な空間になるように、清掃や消毒をこれからも行っていきます。お子様の特性に合わせた環境作りを心掛けていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・活動に合わせて個別に使用することができるようになっています。	・お子様の特性やその日の気分に合った場所を提供していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・業務改善に必要な職員会議や毎日の朝礼、終礼により、全職員への情報共有を行っています。	・業務改善の提案や設定、振り返りの情報共有を全員で行い、コミュニケーションをしっかりとしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年1回ご利用者様からの評価をさせていただく機会を設けています。ご利用者様からの評価、意見をもとにより良い事業所を目指して、業務の改善に努めていきます。	・結果をもとに業務の改善に努めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・他事業所との情報交換や園・学校への訪問を通じて多角的な視点で支援を行う。 また、座談会の回数や内容を工夫して、つながらるコミュニティの場を設ける。	・今後も引き続き体制を整えていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価は実施していません。	・第三者評価は実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・社内研修に参加しています。これからも職員の質の向上に努めてまいります。	・できる限り参加できるように今後も取り組んでいきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	20		・児童発達支援サービス計画に沿って、支援プログラムを作成しています。ご利用者様には支援中や支援後に内容をお伝えしています。	・今後も適切に行っていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・利用前や年ごとにアセスメント、半年ごとにモニタリングを行い、お子様の課題を職員間で検討した上で個別支援計画を作成しています。	・今後も適切に行っていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・目標や支援内容について共通理解を図りながら作成しています。	・今後も職員参画のもと検討を行っていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員全員で計画内容を共有し、計画に沿った支援を行っています。	・今後も適切に行っていきます。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・日常チェックシート、目のチェック、原始反射の残存チェックをアセスメントツールとし、モニタリングを行う都度、行っています。また、これ以外にお子様の家庭等での状況を伺うためのアセスメントを行っています。	・アセスメントをモニタリングと一体的に行っていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援サービスガイドラインに沿って個別支援計画を作成しています。	・移行支援、地域支援・地域連携については、保護者様の意向、お子様の思いを大切にしています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・作成者と職員で支援会議を行い、支援プログラムを作成しています。	・様々な体験を積み重ね、将来必要となる力を養えるようにプログラムを考えていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・支援経過記録を作成し、過去の内容を確認した上で活動プログラムを作成しています。また、ご利用者様の日々の様子も見ながらプログラムを提案しています。	・今後もお子様の現状に合わせたプログラム作成を行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・S.I.C.では個別支援を行うことで、集団適応力を育てています。	・個別支援を行うことで、集団適応力を育てています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・就業開始前に朝礼を行い、支援内容の確認や情報共有をして業務を開始しています。	・気付いた内容などを記録に残しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・就業終了前に終礼を行い、その日に行われた支援を振り返り、問題点や改善点がないかを報告をし、よりいい支援ができるように職員全員で共有しています。	・支援の中で気になったことや、できごとを細めに伝え合い、保護者様にお伝えすることを共有し、継続した支援を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援実施後に支援経過記録を記入しています。支援経過記録は個別のファイルにまとめ、支援の向上資料として使用しています。	・ご利用者様ごとの個別ファイルおよびアプリ上に保存し、支援の向上のため活用しています。
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に1回モニタリングを行い、児童発達支援サービス計画の見直しをしています。	・半年に1回必ずモニタリングを行っています。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が出席しています。	・児童発達支援管理責任者が出席していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・連携が必要になった場合、保護者様が希望する場合や、ニーズに備えて、体制を整えており、必要に応じて連携をしています。	・今後も必要に応じ、連携を行います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者様のニーズがあるかなどを検討した上で、実施できる体制があります。	・今後も必要に応じ、連携を行います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者様のニーズがあるかなどを検討した上で、実施できる体制があります。	・今後も必要に応じ、連携を行います。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		・社内研修に参加しています。これからも職員の質の向上に努めてまいります。	・今後も連携を密にし、支援の質の向上に努めていきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・まだ機会を設けられていません。	・地域交流について、利用者様の地元のお祭りを紹介していきたいと考えています。 ・S.I.C.KIDSが毎年行っているファミフェスは、障がいの有無に関わらずみんなで楽しめるイベントとして開催しています。こういったイベントを利用することにより、ステップアップで地域行事にも参加ができるようになってほしいという願いがあります。様々なイベントを紹介し、活動ができればと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・支援終了後に、指導員から支援内容やお子様の様子等を保護者様にお伝えし、保護者様からはご家庭や園等での様子をお聞きし、情報交換をしています。伺った内容は職員間で共有しています。	・お子様の状況を伝える際は、分かりやすくお伝えできるように常に改善していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・保護者様が参加できる研修やイベントを公式LINEやSNS等を使い情報提供を行っています。	・アンケートを実施するなどし、保護者様のニーズを把握して行えるようにします。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時に説明をさせていただいています。日本語が分かりづらい方には翻訳ツール等を使用し、分かりやすさを意識して行っています。	・初めてご利用される方にも分かりやすいように、丁寧な説明をこれからも心掛けていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・モニタリングを通して、ご利用者様の意向等を確認しております。いただいた情報は職員間で共有し、個別支援計画やプログラムに反映しています。	・今後も分かりやすい説明を意識し行っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	・ご利用者様には児童発達支援サービス計画についての説明を必ず行い、同意を得てから利用を開始しています。	・今後も分かりやすい説明を意識し行っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・保護者様から相談があった際は、子育てサポートや家族支援を行っています。相談内容は職員間で共有しています。職員からも保護者様へ積極的に声を掛け、情報交換を行っています。	・声を掛けやすい環境設定や雰囲気づくりに努めています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	・保護者様が集まる場として座談会を設けています。同じような内容だけではなく、様々なイベントを企画し、交流できる場作りをしています。	・つながるコミュニティをつくっていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・保護者様から相談があった際には、迅速に対応しています。相談内容は職員間で共有しています。	・声を掛けやすい環境設定や雰囲気づくりに努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・公式LINEやInstagram等のSNSで発信しています。	・個人情報の保護に留意していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・書類は鍵付きの書庫に保管しています。	・施錠や整理整頓を徹底しております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・文字だけで分かりづらい時は、絵カードや写真を用いて行っています。	・それぞれの方に合わせた伝達方法を行っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・今年、市のイベントである福祉まつりに参加しました。今後も続けていきたいと考えています。	・今後も続けていきたいと考えています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・各マニュアルを策定し、マニュアルに応じた動きを想定した訓練を行っています。	・各マニュアルを玄関に常設するなど、常に確認できる場所に配置しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・業務継続計画を策定し、避難訓練や防災訓練、引き渡し訓練を行っています。	・定期的に職員間で内容確認を行っており、非常災害発生時に対応できるようにしています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	・利用開始前にアセスメントを行い、現在の服薬状況やてんかんの有無などを確認しています。必要に応じて対応方法をご利用者様と協議しています。	・薬の効用、予防接種等の基礎知識を身につけられるように研修、勉強をしています。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食事提供は行っていないが、保護者様へ確認し、アセスメントシートの記載をしています。また、職員への周知を行っています。	・必要に応じ、医師の指示書をいただくようにしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、職員間で研修や訓練を行っています。また定期的に教具の点検を行い、支援中に事故やケガがないように努めています。	・今後も必要に応じ、見直しを行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・避難訓練や防災訓練、引き渡し訓練を行っています。保護者様と連携を図って行っています。	・職員にも周知を行い、常に安全を意識し支援に取り組んでいます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットが発生した場合は報告書にまとめ職員間で共有し、安全対策に努めています。	・職員間での共有を徹底しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止研修を定期的に行い、研修記録を残しています。虐待への知識を深め、未然に防げるように努めてまいります。	・研修実施記録を残しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・契約時に保護者様に説明させていただいています。必要に応じて個別支援計画書に記載し、保護者様に説明をした上でサインをいただいています。支援中に怪我に繋がる場合等、身体拘束が発生した場合は保護者様にご報告と記録を残しています。	・身体拘束適正化のための指針に基づき行動しています。